

広域防災拠点ワーキンググループの設置について

ワーキンググループの実施方針（案）

- ワーキンググループは、「長野県広域受援計画基本構想」P13における、広域防災拠点の機能（救助活動拠点（進出拠点を含む）、航空搬送拠点、広域物資輸送拠点）ごとに分けて実施する。
- ワーキンググループ全体会議は、2回（7月11日、10月下旬～11月上旬）開催する。

■救助活動拠点WGの構成員（案）

分類	機関名	
県	危機管理部	危機管理防災課
	危機管理部	消防課
	企画振興部	交通政策課 松本空港利活用・国際化推進室
	健康福祉部	健康福祉政策課
	健康福祉部	医療推進課
	建設部	道路管理課
	建設部	道路建設課
	建設部	都市・まちづくり課
関係機関	陸上自衛隊第13普通科連隊	第3科
	長野県警察本部	警備第二課
	DMAT関係者	信州大学医学部附属病院
市町村	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、中野市、茅野市、塩尻市、佐久市、東御市、安曇野市、御代田町、下諏訪町、南箕輪村、小布施町、飯綱町	

■航空搬送拠点WGの構成員（案）

分類	機関名	
県	危機管理部	危機管理防災課
	危機管理部	消防課
	企画振興部	交通政策課 松本空港利活用・国際化推進室
	健康福祉部	医療推進課
関係機関	陸上自衛隊第13普通科連隊	第3科
	長野県警察本部	警備第二課
	DMAT関係者	信州大学医学部附属病院
市町村	松本市	

■広域物資輸送拠点WGの構成員（案）

分類	機関名	
県	危機管理部	危機管理防災課
	県民文化部	くらし安全・消費生活課
	健康福祉部	食品・生活衛生課
	健康福祉部	薬事管理課
	環境部	水大気環境課
	産業労働部	産業政策課
	農政部	農業政策課
	農政部	農業技術課
	教育委員会事務局	保健厚生課
	建設部	建設政策課技術管理室
	建設部	道路建設課
	建設部	道路管理課
	関係機関	長野県倉庫協会
(株)セブン&アイ・ホールディングス		
(株)ローソン		
イオンリテール(株)		
(公財)長野県学校給食会		
長野県トラック協会		
赤帽長野県軽自動車運送協同組合		
陸上自衛隊第13普通科連隊		第3科
長野県警察本部		交通規制課
国土交通省		北陸信越運輸局
国土交通省		関東地方整備局、 中部地方整備局、 北陸地方整備局
市町村	長野市、松本市、上田市、飯田市、諏訪市、伊那市、茅野市、塩尻市、佐久市、 千曲市、御代田町、立科町、下諏訪町、原村、南箕輪村、中川村、山形村、 飯綱町	

広域防災拠点の選定基準について

○広域防災拠点の機能(救助活動拠点、航空搬送拠点、広域物資輸送拠点)の特性を踏まえた選定基準を定め、候補施設から適切な施設を選定する。

※「進出拠点」としては、求められる機能がほぼ同一である「救助活動拠点」を活用することとする。

■機能別の広域防災拠点の選定基準

No	広域防災拠点の機能	広域防災拠点の選定基準
1	救助活動拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○長野県広域受援計画基本構想に示した候補施設に基づき検討する。 ○水道施設、トイレ、ヘリポート、ICからの距離等を整理し、各施設の利便性を評価する。 ○各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。 ○関係機関へ救助活動拠点として活用可能か確認する。 <p>⇒詳細はP6参照</p>
2	航空搬送拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○災害拠点病院近隣に位置するヘリポート(大型ヘリ対応可能)を航空搬送拠点の候補施設とする。 ○各ゾーンにおいて候補施設を選定する(松本ゾーンは松本空港に設置済み)。 ○松本空港における航空搬送拠点の施設規模・仕様等に基づき、他ゾーンにおけるSCUの設置方法について検討する(県庁関係部局にて検討)。 ○各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。 <p>⇒詳細はP7参照</p>
3	広域物資輸送拠点	<ul style="list-style-type: none"> ○長野県広域受援計画基本構想に示した候補施設(案)に基づき検討する。 ○耐震性、建屋の床面積、フォークリフト・大型トラックの利用可否、近隣のヘリポート有無、ICからの距離等を整理し、各施設の利便性を評価する。 ○各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。 ○関係機関へ広域物資輸送拠点として活用可能か確認する。 <p>⇒詳細はP8参照</p>

①救助活動拠点の選定基準(案)

- 救助活動拠点の候補施設は、長野県広域受援計画基本構想で示している候補施設（敷地面積が概ね10ha以上の公園、空地等）を基本とする。
- 各施設のヘリポート・水道施設の有無、トイレの数、ICからの距離等を整理して、利便性による評価を行う。
- 各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。
- 関係機関へ救助活動拠点として活用可能か確認する。

■救助活動拠点(案)候補施設の選定

長野広域受援計画基本構想の巻末資料3に示した候補施設のうち、「広域応援部隊の一時集結・ベースキャンプ機能」、「災害医療支援機能」を有する施設を選定する。

■機能に応じた評価・分類

救助活動拠点の必要最低限の機能である「水道施設、トイレ」を基準に、保有することが望ましい「大型駐車場、大型ヘリポートの有無」から、拠点の利便性を3段階で評価する。

A：優れた機能（駐車場300台程度*または周辺に大型ヘリポート有）を持つ施設

B：水道施設、トイレを有している施設

C：A、Bの機能が欠けている施設

※ 長野県広域受援計画基本構想「巻末資料1 広域防災拠点に期待される機能（広域応援部隊）」のうち、「車両駐車スペース220台程度（警察）」を参考とした。

■災害リスクの整理

各拠点の災害リスクの評価として、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の範囲内に拠点が位置していないか確認する。拠点が災害リスクを有している場合、活用上の留意事項として整理する。

救助活動拠点WGにおいて拠点案を選定

②航空搬送拠点の選定基準(案)

- 災害拠点病院近隣に位置するヘリポート(大型ヘリ対応可能且つ建屋有※)を航空搬送拠点の候補施設とする。
※建屋については、既設の建物及び空地への仮設置等も含めて想定する。
- 航空搬送拠点は、長野県内の各ゾーンにおける候補拠点を選定する(松本ゾーンは松本空港に設置済み)。
- 松本空港における航空搬送拠点の施設規模・仕様等に基づき、他ゾーンにおけるSCUの設置方法について検討する(県庁関係部局にて検討)。
- 各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。

■航空搬送拠点(案)候補施設の選定

長野県内にある8か所※の災害拠点病院で近隣のヘリポート(大型ヘリ対応可能)の状況を整理

- ・最寄りのヘリポート(大型ヘリ対応可能)までの距離が最も遠い災害拠点病院は飯田市立病院-喬木村運動公園グラウンドの4.8kmである。
- ・各ゾーンにおける航空搬送拠点(案)の候補施設として、各災害拠点病院を中心に半径5km圏内のヘリポート(大型ヘリ対応可能)を整理する。

※ 木曽、大北は、広域防災拠点のゾーンから外れるため検討から除外

■ヘリポート(大型ヘリ対応可能)周辺の建屋検証

航空搬送拠点に設置する建屋については、既に設置することが定まっている松本空港で設置される予定の建屋の仕様等を参考に関係各課にて検討を行う。



八尾SCU(大阪府八尾市)の建屋のイメージ
出典：<http://www.osaka-pgmc.com/hosp/researches/scu/yaoscu/>

■災害リスクの整理

各拠点の災害リスクの評価として、**浸水想定区域や土砂災害警戒区域等**の範囲内に拠点が位置していないか確認する。
拠点が災害リスクを有している場合、活用上の留意事項として整理する。

航空搬送拠点WGにおいて拠点案を選定

③広域物資輸送拠点の選定基準(案)

- 広域物資輸送拠点候補施設は、長野県受援計画基本構想で示している候補施設(概ね1,000㎡以上のスペースを確保できる建物)を基本とする。
- 耐震性、建屋の床面積、フォークリフト・大型トラックの利用可否、近隣のヘリポート有無、ICからの距離等を整理して、利便性による評価を行う。
- 各拠点の災害リスクを、拠点活用上の留意事項として整理する。
- 関係機関へ広域物資輸送拠点として活用可能か確認する。

■広域物資輸送拠点選定の流れ(案)

■広域物資輸送拠点候補施設の選定

長野広域受援計画基本構想の巻末資料3において、広域防災拠点の候補施設として示している施設のうち、「支援物資の中継・分配機能」、「物資等の備蓄機能」を有する施設を選定

■機能に応じた分類

広域物資輸送拠点に必要な最低限の機能となる「受入施設の耐震性、支援物資受入スペースの有無、フォークリフト利用可否」を基準に、保有することが望ましい「大型トラック利用可否、ヘリポートの有無」から、拠点の利便性を3段階で評価する。

A：優れた機能（大型トラック利用可、近隣にヘリポート有）を持つ施設

B：耐震性有、支援物資受入スペース有、フォークリフト利用可の施設

C：A、Bの機能が欠けている施設

■災害リスクの整理

各拠点の災害リスクの評価として、浸水想定区域や土砂災害警戒区域等の範囲内に拠点が位置していないか確認する。
拠点が災害リスクを有している場合、活用上の留意事項として整理する。

■物資集積のための面積検証

必要物資量から物資集積のために必要な面積を計算し、広域物資輸送拠点候補施設で想定される受入れスペースで対応可能か確認する。⇒詳細はP7参照

広域物資輸送拠点WGにおいて拠点案を選定

(参考)災害拠点病院付近のヘリポートの状況からみた航空搬送拠点候補施設について

■航空搬送拠点候補施設数(災害拠点病院付近のヘリポート数)の整理

○航空搬送拠点として活用するヘリポートは、災害時に一度に多くの傷病者を搬送することが可能な大型ヘリ(チヌーク等)に対応している必要がある。そのため、航空搬送拠点には、ヘリポート(大型ヘリ対応可能)が近隣にあることを条件とした。

※木曽、大北は、広域防災拠点を設置する予定のゾーンから外れるため検討対象外とした。

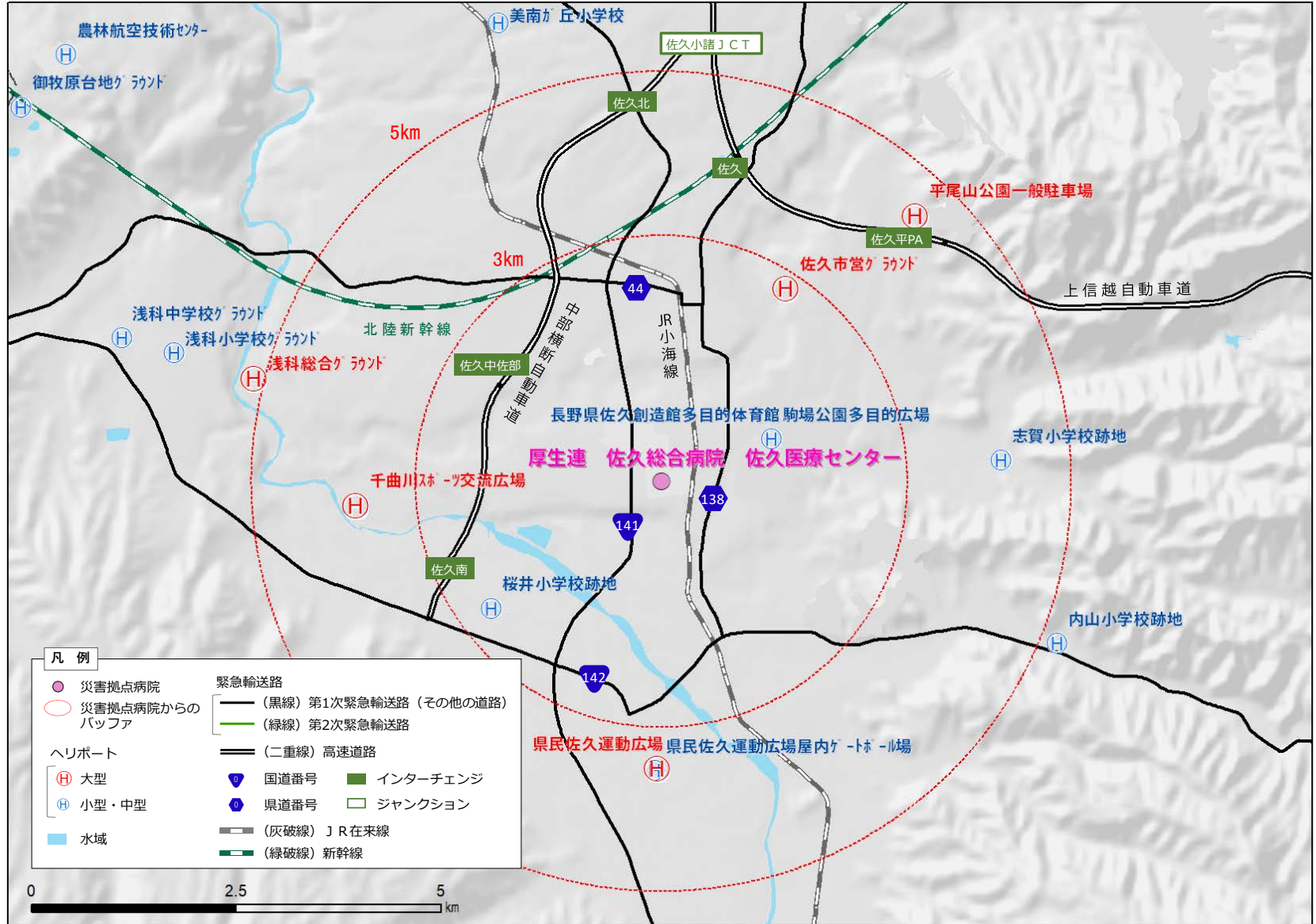
※松本ゾーンについては、既に松本空港へ航空搬送拠点を設置することが決まっているため、検討対象外とした。

■航空搬送拠点候補施設数(災害拠点病院付近のヘリポートの状況)

ゾーン	10広域 (二次医療圏)	災害拠点病院	航空搬送拠点候補施設 [ヘリポート数(大型ヘリ対応可能) ()内は小・中型を含めた数]		
			10広域内	5km圏内	(参考) 3km圏内
長野	長野	長野赤十字病院	41(142)	2(13)	1(5)
	北信	JA長野厚生連 北信総合病院	6(36)	2(8)	2(3)
松本	松本	信州大学医学部附属病院	※航空搬送拠点を松本空港に設置するため、検討対象外とする。		
上田・佐久	佐久	厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター	30(88)	4(9)	1(4)
	上小	独立行政法人国立病院機構 信州上田医療センター	9(40)	1(10)	0(5)
諏訪	諏訪	諏訪赤十字病院	5(30)	1(12)	0(6)
伊那・飯田	上伊那	伊那中央病院	22(54)	6(12)	5(9)
	飯伊	飯田市立病院	28(106)	10(17)	3(10)

(参考)航空搬送拠点候補施設付近のヘリポートの整理例

◆厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター



(参考) 広域物資輸送拠点の必要面積に関する過不足の試算

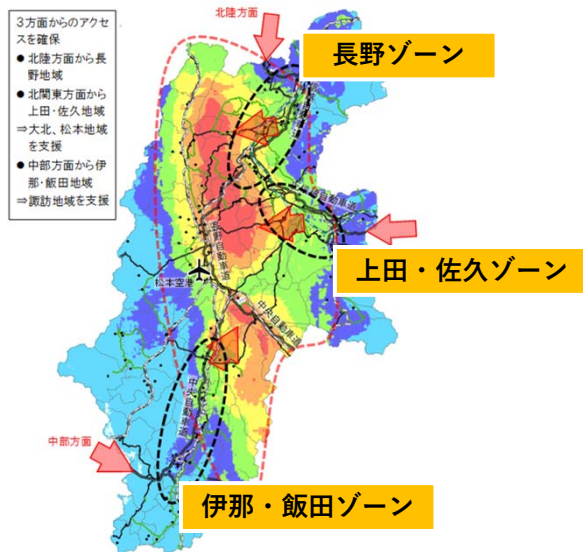
○各ゾーンで最大の被害が出る想定災害を対象に必要物資量・必要面積を算出し、各ゾーンの施設面積と比較した。
○想定災害ごとの各ゾーンにおける必要物資量・必要面積は等分することと仮定した。

■各ゾーンで被害が最大となる災害における物資の必要面積に関する過不足の試算結果

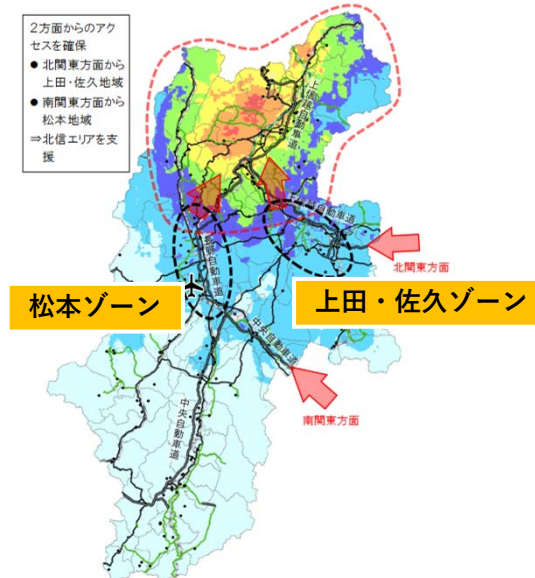
想定災害	活用ゾーン	必要面積※1	拠点の面積※2	必要面積と拠点面積の差	過不足の検証結果
糸魚川-静岡構造線断層帯地震 (必要面積:14,025㎡)	長野	4,675㎡	22,760㎡	18,085㎡	14,337㎡ 充足 ※3
	上田・佐久	4,675㎡	2,150㎡	-2,525㎡	
	伊那・飯田	4,675㎡	3,452㎡	-1,223㎡	
長野盆地西縁断層帯地震 (必要面積:7,664㎡)	松本	3,832㎡	6,500㎡	2,668㎡	986㎡ 充足 ※3
	上田・佐久	3,832㎡	2,150㎡	-1,682㎡	
伊那谷断層帯(主部)地震 (必要面積:3,221㎡)	松本	1,611㎡	6,500㎡	4,889㎡	13,018㎡ 充足 ※3
	諏訪	1,611㎡	9,740㎡	8,129㎡	

※1各想定災害において活用する広域防災拠点は同じだけの物資を受け入れる想定とした
※2平成29年度に実施したアンケート調査結果に基づき整理(フォークリフト利用可能な支援物資受入スペースとして回答を得た面積)
※3近隣のゾーンと融通することで充足するが、拠点ごとの災害リスクや施設の利用可否について精査することが必要

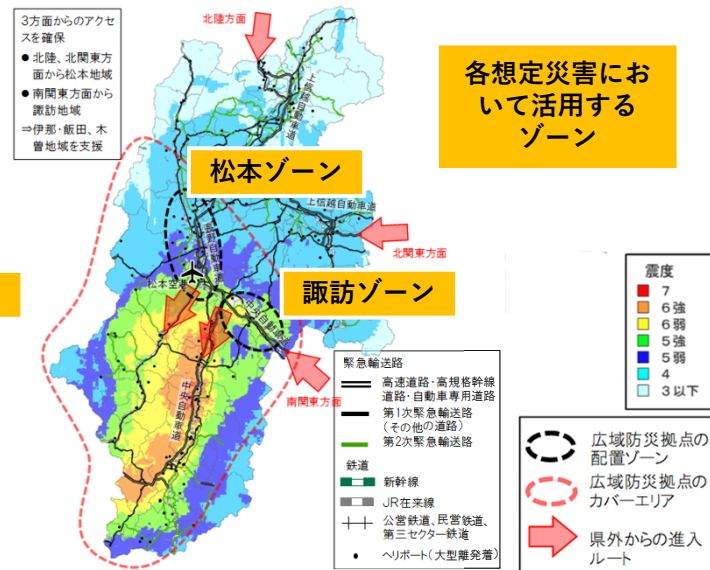
■糸魚川-静岡構造線断層帯地震



■長野盆地西縁断層帯地震



■伊那谷断層帯(主部)地震



(参考)広域物資輸送拠点における物資の保管面積の算定方法

■広域物資輸送拠点に物資を置くために必要な面積の算定方法

- 長野県として備蓄している物資等の情報をもとに、下表の12種類の物資を置くために必要な面積を算定した。
- 長野県の地震被害想定調査結果で示されている避難者数等の情報をもとに、発災後4日目以降に必要な物資量を算定した。
- 1パレットあたり積載可能な物資量を求めて、必要なパレット数に換算し、パレットを置くのに必要な面積(1段積)を、物資を置くために必要な面積として算定した。
- 食糧については、熊本地震の実績より、おにぎり、包装米飯、パン、即席麺と仮定し、各食品を4分の1ずつ受援すると仮定した。
- 下表の内、最も重い物資は水であり、579(kg/m²)である。これにパレット(プラスチックの場合30kg程度)、フォークリフト(小型の場合1,400kg程度)の重さを加えたものが荷重となる。

No	カテゴリ	品目	市場商品サンプル(1梱包当たりの諸元)							
			梱包内容・梱包サイズ	重量(kg)	幅(mm)	奥行(mm)	高さ(mm)	面積(m ²)	体積(m ³)	一梱包の数量
1	おにぎり	食糧	1コンテナあたり60個程度 外寸:643×411×159mm 有効内寸:598×371×133mm	4.2	643	411	159	0.264	0.042	60
2	包装米飯	食糧	200g×6パック×6袋 365×265×250mm	8.3	365	265	250	0.097	0.024	36
3	食パン・菓子パン	食糧	1コンテナあたり20個程度 外寸:643×411×159mm 有効内寸:598×371×133mm	2.8	643	411	159	0.264	0.042	20
4	即席麺	食糧	77g×20食 W515×D420×H110mm	1.5	515	420	110	0.216	0.024	20
5	飲料類	飲料水	ペットボトル500ml×24本 W220×D280×H410mm	12.0	220	280	410	0.062	0.025	12
6	寝具類	毛布	約1.3kg×10枚(圧縮) W550×D750×H300mm	13.0	550	750	300	0.413	0.124	10
7	子供用品・介護用品	粉ミルク	810g×8缶 W555×D283×H187mm	6.5	555	283	187	0.157	0.029	6.5
8		おむつ(子供用)	Mサイズ×168枚 W405×D265×H394mm	5.7	405	265	394	0.107	0.042	168
9		おむつ(大人用)	M~Lサイズ×88枚 W453mm×D363mm×H383mm	5.4	453	363	383	0.164	0.063	88
10	衛生品	携帯トイレ	100枚(回分) W240×D170×H180mm	2.4	240	170	180	0.041	0.007	100
11		トイレトイーパー	100m×60ロール W460×D570×H400mm	14.0	460	570	370	0.262	0.097	60
12		生理用品	(昼用28枚・夜用15枚/1パック)×30 W520×D490×H345mm	3.5	520	490	345	0.255	0.088	1,290

広域防災拠点計画 構成イメージ

<本編>

2. 1 総則

- (1) 現状・課題
- (2) 広域防災拠点の必要性
- (3) 広域防災拠点の定義

2. 2 広域防災拠点計画の基本方針

- (1) 広域防災拠点の整備目的
- (2) 広域防災拠点整備の検討方針

2. 3 広域防災拠点整備の配置ゾーン

2. 4 広域防災拠点施設

- (1) 長野ゾーン
- (2) 松本ゾーン
- (3) 上田・佐久ゾーン
- (4) 諏訪ゾーン
- (5) 伊那・飯田ゾーン

2. 5 広域防災拠点運用計画

2. 6 広域防災拠点の整備方針

<巻末資料>

巻末資料1 広域防災拠点の基本情報シート・施設配置図

巻末資料2 関係機関の連絡先一覧

巻末資料3 様式集

2. 4 広域防災拠点施設 (1) 長野ゾーン

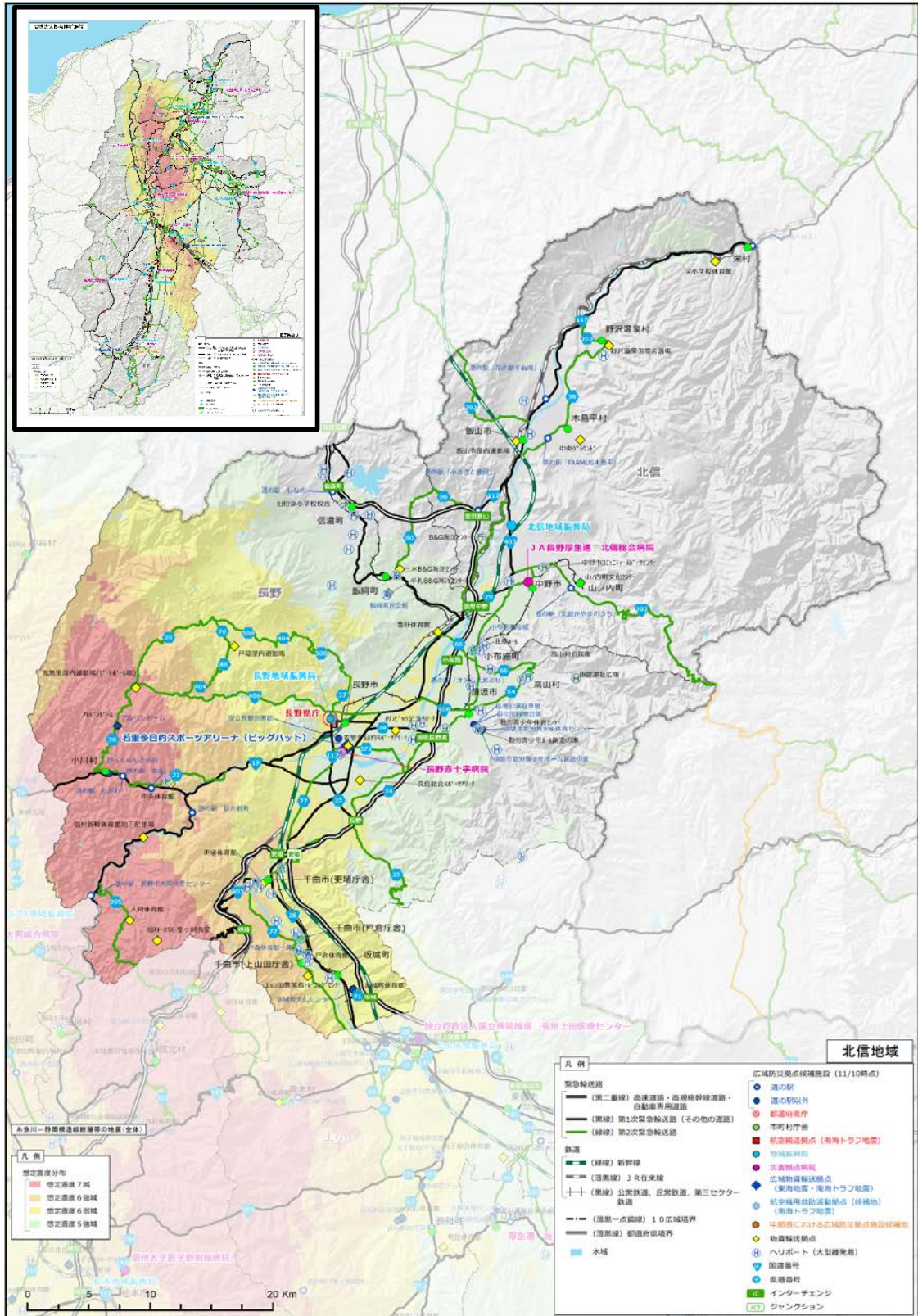


図 長野ゾーンの位置図

表 候補施設一覧（例）

○：確保済み △：今後整備が必要（記号の下に不足する設備を記載）

No	候補施設名称	立地市町村 (施設管理者)	拠点機能(案)				備考
			進出拠点	救助活動拠点	航空搬送拠点	広域物資輸送拠点	
1	城山公園	長野市（市）	○	△ 非常用 発電機			指定避難場所 応急仮設住宅建設候補地
2	昭和の森公園	長野市（市）	○	○			指定避難場所 応急仮設住宅建設候補地
3	若里多目的スポーツアリーナ(ビッグハット)	長野市（市）				○	物資配送センター
4	オリンピック記念アリーナ（エムウェーブ）	長野市（市）	○	○		○	指定避難場所 物資配送センター
5	真島総合スポーツアリーナ(ホワイトリング)	長野市（市）				○	指定避難所 物資配送サブセンター
6	長野運動公園	長野市（県・市）	○	○		△ 床面補強	
7	南長野運動公園	長野市（市）	○	○		△ 床面補強	ヘリポート：長野県消防学校
8	臥竜公園	須坂市（市）	△ 通信設備	○			拠点ヘリポート：県民須坂運動広場
9	北信濃ふるさとの森文化公園	中野市（市）	○	○			ヘリポート：中野平中学校校庭
10	豊野体育館	長野市（市）				△ 床面補強	拠点ヘリポート：豊野中学校校庭
11	戸倉体育館一帯	千曲市（市）				△ 床面補強	ヘリポート：戸倉野外趣味活動センター敷地
12	飯綱町民会館	飯綱町（町）		○		△ 床面補強	拠点ヘリポート：ふれあいパーク運動場
13	道の駅「オアシスおぶせ」 (小布施総合公園)	小布施町（町）	○	○			上信越自動車道小布施IC

巻末資料

巻末資料 1 広域防災拠点の基本情報シート・施設配置図

長野ゾーン編

松本ゾーン編

上田・佐久ゾーン編

諏訪ゾーン編

伊那・飯田ゾーン編

巻末資料 2 関係機関の連絡先一覧

巻末資料 3 様式集

基本情報シート	No	施設名
	0	〇〇公園

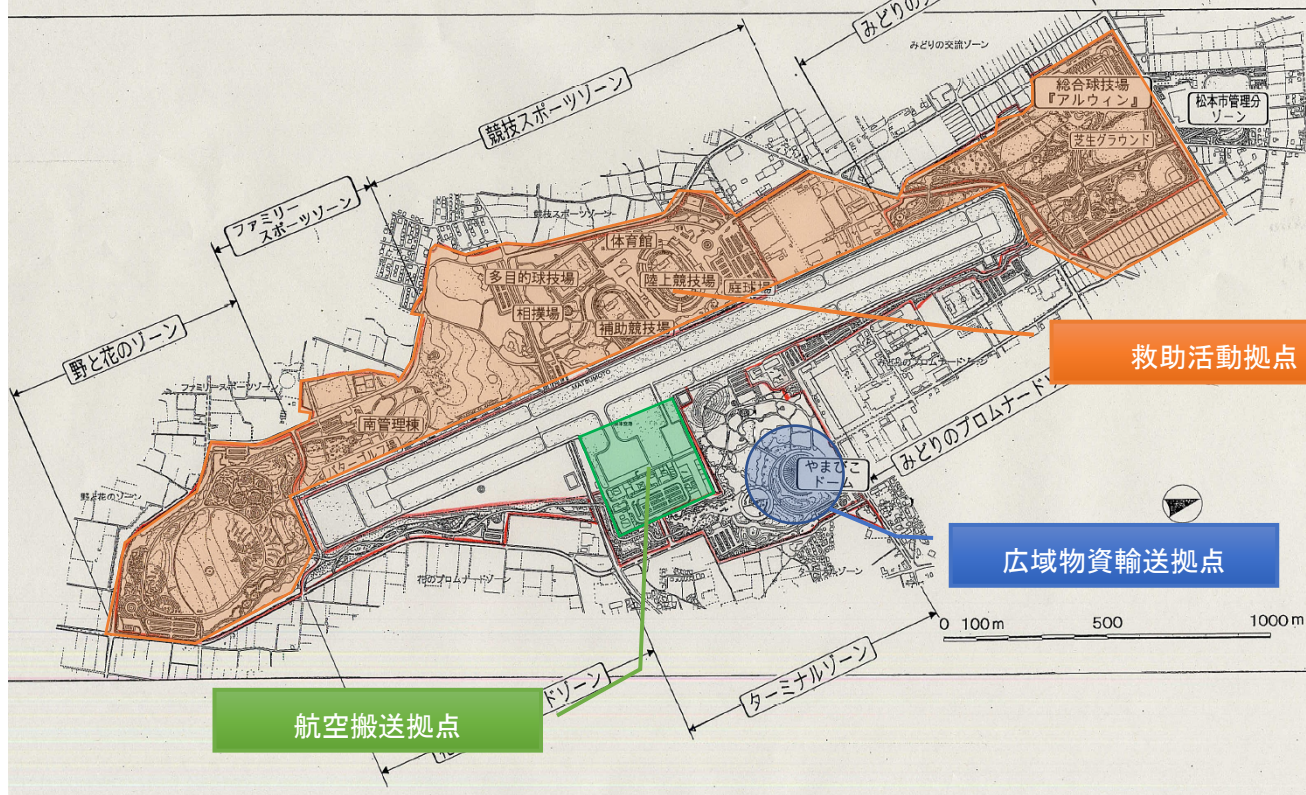
住所		長野市〇〇町0-0			
座標		緯度経度 (GPS)	北緯〇度〇分〇秒 東経〇度〇分〇秒		
		UTM	99SPU99999999		
連絡先	平常時	TEL	026-999-9999		
		FAX	026-888-8888		
	緊急時 (地域防災無線)	無線機 番号	999		
	施設の担当職員	氏名 (所属)	長野 太郎	TEL	080-9999-9999
施設設備		備蓄倉庫、プレハブ倉庫			
通信設備		地域防災無線			
想定される利用期間		発災直後～1ヶ月			
周辺施設		最寄りIC	〇〇IC (約〇km)		
		最寄り ヘリポート	〇〇中学校校庭 (約〇km)		
災害リスク		想定 最大震度	震度6弱	風水害	〇〇川浸水想定区域内
特記事項		指定避難場所 応急仮設住宅建設候補地			

	自衛隊	消防	警察	トラック協会
進出拠点	〇〇広場 (〇〇㎡)	〇〇広場 (〇〇㎡)	〇〇広場 (〇〇㎡)	
救助活動拠点	ふれあい広場 (〇〇㎡)			
航空搬送拠点				
広域物資輸送拠点				〇〇体育館 (〇〇㎡)

施設配置図

作成イメージ
(松本平広域公園の例)

資料1 松本平広域公園(信州スカイパーク)平面図



広域防災拠点の現地調整・情報提供機能に係る検討事項

- 広域防災拠点施設に必要とされる、現地調整・情報提供機能について検討。
- 広域防災拠点における県の体制について整理。
- 災害対策本部、他の広域防災拠点施設等との情報共有・伝達に必要な設備や、関係機関等に提供する情報内容について整理。

■広域防災拠点における県の体制

- ・広域防災拠点の開設、利用調整等を行う職員について、派遣規模や派遣元を時系列的に整理。
- ・派遣職員の支援体制(ロジスティクス)について整理。

■災害対策本部等との情報共有・伝達に必要な設備

- ・情報共有・伝達に必要な設備を整理(一般電話、衛星電話、インターネット接続環境、防災無線等)。
- ・拠点施設ごとに、必要となる設備整備内容を整理。

■関係機関等に提供する情報項目

- ・長野県広域受援計画基本構想で示した、以下の「広域応援部隊が共有すべき情報項目」のほか、追加すべき情報項目がないか確認。
 - ・地理情報(道路、河川、地域等)
 - ・高速道路、主要幹線道路、公共交通機関の通行(運行)状況
 - ・避難所、救護所、宿営可能な公共施設
 - ・水道、電気、ガス等、ライフラインの状況
 - ・自衛隊、消防等の救助機関の活動拠点、活動人員、活動エリア及び活動状況等
 - ・給油可能施設
 - ・災害の発生場所、種類、危険性
 - ・病院の被災状況、受入れ状況、患者搬送手段
 - ・リアルタイムの被害状況(人的・物的)
 - ・支援隊の派遣状況(被災建築物応急危険度判定士、被災宅地危険度判定士含む)
 - ・災害派遣可能な重機等の状況
 - ・現地における調整担当者及び責任者の氏名と電話番号
 - ・組織図(行政のみでなく指定公共機関等)

(1) 広域防災拠点施設の選定の考え方について

- ・ 広域防災拠点の選定基準に対する意見
ライフライン施設・設備(水道施設、トイレ、電力等)、施設面積、最寄のICからの距離 等
※ 種別ごと(救助活動拠点(進出拠点)、航空搬送拠点、広域物資輸送拠点)に検討

(2) 拠点利用の優先順位の考え方について

- ・ 災害対策本部が拠点利用の優先順位を決定する際に考慮すべき事項
主な被災地との距離及び位置関係、応援部隊等の進入方向及び交通アクセス、
拠点が備える施設・設備 等

(3) 民間施設等の活用のあり方について

- ・ 民間倉庫等の活用のあり方(災害時の機能、時系列的な機能の推移等)
- ・ その他、民間施設で災害時に活用できる可能性のある施設